

令和3年度 佐世保西高等学校 学校自己評価

R4年1月実施

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	実数				4・3の割合			増減			
				4	3	2	1	R3	R2	R1				
① 学校経営	本年度の努力目標	本年度の努力目標の具現化	努力目標に沿った教育活動を行う	本年度努力目標の職員・生徒・保護者・地域への浸透を図り、目標達成のための教育活動を展開する。	4	39	3	0	93.5	98.0	96.2	-4.6		
	学年経営	学年目標の具現化	学校の教育目標に沿った学年経営を行う	学校教育目標に沿って学年の実態に応じた学年目標を設定し、学年経営を行う。	8	35	3	0	93.5	96.1	98.1	-2.6		
	学級経営	学級目標の具現化	学年の教育目標に沿った学級経営を行う	学年目標に沿って学級目標を設定し、学級経営を行う。	5	39	2	0	95.7	86.3	92.3	9.4		
② 教育活動	教育課程	教育課程の充実	進学重視型単位制高校の特色を活かした教育課程を編成する	教育課程の編成に創意・工夫がなされている。	9	33	2	2	91.3	86.3	94.2	5.0		
	教科指導	日々の授業の充実	指導方法の創意・工夫をする	「主体的・対話的で深い学び」につながるような授業を展開し、生徒が自主的な学びに向かうような姿勢を育成する。	9	32	5	0	89.1					
				平素から授業改善に取り組み、知識及び理解など基礎基本の徹底を図るとともに、思考力・判断力・表現力等を育成する。	9	34	4	0	91.5					
				生徒を誰一人取り残さないために、個々の生徒の実態に即した個別最適な指導に留意し、その充実を図る。	5	30	11	0	76.1					
				さまざまな学びの場において、協働的な活動を積極的に取り入れる。	9	31	6	0	87.0					
				一人一台端末を活用した指導	先進的な取り組みを参考にし、授業におけるコンテンツ開発（2コンテンツ以上）を行う。	10	30	4	2	87.0				
				一人一台端末の活用の際に、ルールに基づき適正に使用させる。	14	27	5	0	89.1					
	教科指導	日々の授業の充実	指導方法の創意・工夫をする	各教科ごとの重点目標を明確にして、基礎・基本の徹底を図る。						96.1	98.1			
				習熟度別や少人数授業等により、効果的な授業を展開する。						86.3	94.2			
				生徒一人ひとりの学力に応じた個別指導を充実させ、学力の向上に努める。						88.2	88.5			
				思考力を重視した問題解決型の学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行う。						92.2	90.4			
	家庭学習の充実	家庭学習の充実	家庭学習を充実させる	家庭学習の意義を明確にし、適切な質と量の予習や課題を課すとともに、自らの学びを振り返らせながら自主的な学びを促す。	7	30	9	0	80.4					
			家庭学習を充実させる	家庭学習時間を、学年で定めた目標時間確保のための取組を講じている。						80.4	75.0			
			適切な課題の質・量の研究をする	各教科で適切な質・量の課題を課し、提出期限を守らせる。						84.3	76.9			
	適切な学習評価	教職員の共通理解のもと適切な評価を行う	担当者間で評価規準を協議し、共通理解のもとで公正かつ多角的な評価を行う。	10	31	4	1	89.1	94.1	96.2	-5.0			
特別活動	生徒会活動の充実	各種委員会と生徒会執行部との連携を強め、自主的・自立的な生徒会活動を目指す	各種委員会への積極的な活動を通じて、次世代を担うリーダーの育成に努めている。	9	29	7	1	82.6	80.4	84.6	2.2			
	学校行事への積極的参加	学校行事に積極的に参加させ、西高生としての自覚と協調性を養う	体育大会・西高祭等の学校行事に積極的に参加させ、自主性、積極性、協調性を身につけさせる。	10	31	5	0	89.1	98.0	98.1	-8.9			

令和3年度 佐世保西高等学校 学校自己評価

R4年1月実施

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	実数				4・3の割合			増減
				4	3	2	1	R3	R2	R1	
キャリア支援	進路指導の充実	職業・学部学科研究を充実させ、進路意識の高揚を図る	学年に応じた的確な進路情報を提供（進路講演会・面談等）し、生徒に自己の能力・適性・興味等を把握させる。	12	32	2	0	95.7	92.2	96.2	3.5
			LHRや「総合的な探究の時間」を活用し、課題発見、分析、課題解決という探究の手法を身に付けさせる。	13	31	1	1	95.7			
			テーマを自分事と捉えさせながら探究活動に積極的に取り組ませて、自らの在り方・生き方を考えさせる。	8	31	7	0	84.8			
			LHRや「総合的な探究の時間」を活用し、職業研究や学部学科研究を計画的に実施する。						86.3	90.4	
			学年別進路・学力検討会を計画的に実施する。						96.1	100.0	
教育相談	不登校・相談室登校生徒への支援	職員の共通理解のもとに、相談体制の充実を図り、対応・支援態勢を確立する	支援や配慮が必要な生徒には丁寧かつ柔軟に対応し、全教職員間で情報共有を図る。また、状況に応じて関係機関等と速やかに連携しながら、支援・指導にあたる。	11	30	5		89.1			
			教育相談委員会を定期的に開き、指導と対策を協議するとともに、不登校・相談室登校生徒の支援に努める。	16	25	5		89.1			
	不登校・相談室登校生徒への支援	職員の共通理解のもとに、相談体制の充実を図り、対応・支援態勢を確立する	教育相談委員会を定期的に開き、指導と対策を協議する						96.1	98.1	
			不登校・相談室登校生徒の回復支援体制の確立に努める						86.3	88.5	
	悩みを抱える生徒への対応	悩みを抱える生徒の早期発見と相談体制を充実させる	心理検査や「悩み・いじめ」アンケート等の活用により、問題を抱える生徒の早期発見に努める。	17	27	2	0	95.7	98.0	100.0	-2.4
			学年・担任・養護教諭・スクールカウンセラー等との連携を密にし、早期対応に努める。	17	25	4	0	91.3	98.0	100.0	-6.7
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	生徒理解のもと全教職員で取り組む	基本的な生活習慣（挨拶や身なり等）を身につけさせ、教育活動全般を通して、社会性を育成する。	8	34	4	0	91.3			
			授業の前後や校内における挨拶、及び外来者への挨拶を励行させる。						90.2	94.2	
			安易な遅刻・欠席を防止するとともに、家庭との連携を密にし、保護者との信頼関係を確立する。						84.3	92.3	
			ズボン・スカート・髪型を中心に、全職員で容儀指導を徹底する。						90.2	92.3	
	問題行動の未然防止	問題行動を未然に防止する	校内外の巡視を行い、問題事例が発生する雰囲気事前に把握する。	6	30	10	0	78.3	86.3	82.7	-8.0
			気になる生徒や生徒の変化について、学年会・担任会で情報交換をする。	19	25	2	0	95.7	96.1	98.1	-0.4
人権・平和教育	人権・平和教育の充実	人権の尊重、平和の大切さに関する問題を認識させ、人権尊重の精神を養う	人権や教育的配慮に基づいた指導を行っている。	13	32	1	0	97.8	94.1	98.1	3.7
			平和教育を実施し、理解を深めさせる。	10	31	5	0	89.1	88.2	92.3	0.9
健康・安全教育	安全教育の徹底	安全意識を高め生命尊重の精神を養う	登下校指導や乗車指導により、公共マナーや安全意識の啓発に努める。	8	30	8	0	82.6	90.2	90.4	-7.6
	健康や安全に関する態度・能力の育成	自分の健康状態を把握し、保健知識をもとに、自分の健康を自分で管理できるようにする	健康診断の結果をもとに、受診指導・受診報告の徹底を図る。	14	30	2	0	95.7	96.1	98.1	-0.4
			「保健だより」の定期的な発行及び保健講話の実施により、保健知識の普及を図る。	18	27	1	0	97.8	98.0	96.2	-0.2

②教育活動

令和3年度 佐世保西高等学校 学校自己評価

R4年1月実施

評価項目	具体的項目	目標	具体的方策	実数				4・3の割合			増減	
				4	3	2	1	R3	R2	R1		
スポーツと文化活動の振興	部活動の活性化	部活動に積極的に参加させる	担任と部活動顧問との連携を密にし、生徒の学習面、生活面について双方から支援する。	6	33	7	0	84.8	88.2	92.3	-3.5	
			下校時間を厳守させるとともに、ノ一部活動デーの設定により、体力面での回復を図る。	10	33	1	2	93.5	92.2	98.1	1.3	
②教育活動	読書指導	魅力的で利用しやすい学校図書館運営を工夫し、読書指導を推進する。 朝の10分間読書を通して、自ら学ぶ心を育てる	図書館オリエンテーションの実施や「新着図書案内」の発行等により、図書館利用を促進する。	16	27	3	0	93.5	94.1	96.2	-0.6	
			読書活動を日課として位置づけ、学校をあげて取り組む。	11	32	3	0	93.5	84.3	92.3	9.2	
③組織運営	校務分掌	適切な役割分担・組織的な活動と運営	各自の役割分担が明確であり、適切に仕事を処理する	分掌、学年、教科等の役割分担と調整を行い、学校全体の業務が円滑にいくようにする。	7	35	3	1	91.3	92.2	82.7	-0.9
	校内研修	研修体制の確立と実践	校内研修の活性化を図る	各教科で積極的に公開・研究授業を実施し、指導力の向上を図る。 校内職員研修会を計画的、組織的に実施する。	18	27	1	0	97.8	98.0	96.2	-0.2
	校外研修	教職員の資質向上への取り組み	研修会に積極的に参加する	学校相互の授業研究や教育センター等の研修会へ計画的に参加する。	9	30	7	0	84.8	74.5	86.5	10.3
④教育環境	教育環境の整備	生活環境の整備	日々の清掃を徹底し、美化意識を高める	全校生徒、職員により、日々の清掃と環境美化に積極的に取り組む。	10	30	4	2	87	86.3	86.5	0.7
	施設・設備の管理	活用と安全管理	施設・設備の有効な活用が図られ管理を適切に行う。	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	12	29	5	0	89.1	92.2	96.2	-3.0
	情報インフラの整備・充実	教育活動の情報化と各種情報の保守管理	情報の有効活用を図ると共に、保守管理のシステム整備を図る	教育活動、校務処理等において、校内LANを含めた情報機器を有効に活用する。	12	31	3	0	93.5	94.1	92.3	-0.6
⑤開かれた学校づくり	保護者との連携	育友会活動の充実	生徒に関する情報交換を密にする	生徒の状況について、学校と保護者が緊密に連絡し、情報の共有化に努める。	7	37	2	0	95.7	96.1	100.0	-0.4
			育友会・母の会の活動と連携し、積極的活動を図る。	育友会・母の会と連携し、育友会総会には全保護者の80%以上が参加し、活発な意見交換を行う。	5	34	7	0	84.8	82.4	92.3	2.4
	地域や関係機関との連携	地域との連携の充実	学校評価の実施、中学校や保護者・地域との連携を深める	中学生にオープンスクール参加を積極的に呼びかけ、西高の特色をより多く理解してもらう。 佐西高だより「田原台の風」を毎月発行し、本校の教育活動についての情報をHP等により定期的に発信する。	9	31	6	0	87	88.2	100.0	-1.3
					21	22	3	0	93.5	98.0	100.0	-4.6